



第 36 号

発行所

〒157-0065

東京都世田谷区成城1-13-1

武蔵工業大学付属中・高等学校内

電話 03-3416-4161

発行責任者 阿部俊夫

編集責任者 清水茂

同窓会会長就任にあたって

同窓会会長 阿部 俊夫(十四期生)



昨年十一月に開催されました第二十五回総会において四代目会長に就任する

ことになりました。十四期生の若輩者である私ですが、同窓会に関わってから十九年となり、同窓会にとって節目となる数々の場面に参加させていただいてまいりました。今回、諸先輩より会長に推薦頂いたのも、これらの経験を今後同窓会に生かしていくようにとの励ましが含まれているものと理

解しております。

高等学校の創立は一九五一年四月であり、この三月に満五十年周年を迎えました。同窓会は一九七六年十月に結成総会を母校で開催、本年十月で満二十五周年を迎えます。これまでの間に会員の皆さんを始め、学校関係者、特に歴代の校長先生(名誉会長)にお世話になり、歴史の節目となる年を迎えました。

この二十五年は、活動費が不足する中で活動の積み重ねを至上命題としていた初期、「柏」の発行、

名簿の発行等々と活動を拡大していった中期、活動の定着と同窓会の広がりを目指している現在にと振り返ることができます。今年の二十五周年を大きな節目として同窓会という組織を会員の交流の場として位置付けていくことが私ども役員に与えられた使命として活動してまいる所存でございます。

折しも政府の支持率は一桁。経済の先行きは不透明。株価の底値は見えない。これ以上悪くなりようがないと言っている社会情勢であり、同窓会役員の皆さんも仕事に追われ、会議に出席することが難

しい状況の方もいらっしゃると思います。しかし、同窓会の活動は近視眼的に見るのではなく、五年、十年という継続の中で評価され、皆様の集いの場になっていくものと信じております。柏苑祭での「同窓会の部屋」も五年目を迎え、会員の方が同級生との待ち合わせの場として活用いただけるようになってまいりました。諸先輩の築かれてきた二十五年の歴史を引き継ぎ、新たな活動の積み重ねを加え、バトンを渡していきたいと考えております。皆様の絶大なご協力とご指導をお願い申し上げます。

= 母校創立 50 周年記念事業について =

母校(高等学校)は本年3月で満50周年を迎えました。同窓会としても今年を創立50周年と考え、母校に設置された『50周年記念事業準備委員会』との共同会議に参加し、現在下記の企画が母校・PTAの方々と共に検討進行しています。

- ・ 記念祝賀パーティー
- ・ 記念誌の発行

(内容)主に「写真集」並びに「メッセージ集」なお、上記企画遂行のためには同窓会(卒業生)の多大なるご協力が必要となりますが、記念誌の制作のための創立期から現在までの学園生活その他思い出深い「スナップ写真」をお預かりしたいと存じます。さらに上記企画遂行のため記念誌巻末に名刺大広告多数を募集(協賛)します。今後のご案内にもぜひ、ご関心をお持ちになりご協力いただけますよう謹んでお願い申し上げます。

【連絡先】同窓会事務局または下記へ

- ・ 塩満 守 (19期) 3582-8936
- ・ 阿部俊夫 (14期) 3771-2158

第25回総会報告

総会日時 平成12年11月17日 18:30～
渋谷/東急文化会館「花梨」

1999年度(1999年10月1日から2000年9月30日)活動報告

- '99.11.12 第24回総会 於 東急ゴールデンホール
第1号議案～第5号議案 すべて原案どおり承認されました。
懇親会 於 東急ゴールデンホール
- '00.02.08 第1回理事会
①50周年記念事業企画について
②その他
- '00.03.01 高校卒業式 岩本副会長出席
- '00.03.25 50周年準備委員会(学校主催) 岩本副会長・阿部事務局長出席
- '00.03.14 母校 山本事務長ご逝去 岩本副会長列席
- '00.05.07～09 母校体育祭7・8日は球技大会 9日は棒倒し、騎馬戦、クラス対抗リレー
同窓会賞贈呈
- '00.07.07 第2回理事会
①『柏』35号発行の遅延確認
②総会・懇親会 開催について
③50周年記念事業について
- '00.07.20 第9回武蔵クラシック 東名御殿場カントリークラブ 会員29名 教員6名
- '00.09.08 第3回理事会
①会計状況の悪化による『柏』発送について
②柏苑祭参加について
- '00.09.30～10.02 『柏』35号発送 3018通及び5102通
- '00.10.08・09 柏苑祭参加
- '00.11.01 第4回理事会
①総会提出議案検討
②その他

1999年度(1999年10月1日から2000年9月30日)決算報告

一般会計報告(収入の部)

科目	予算	決算	内 訳
入会金	780,000	786,000	47期生262名
年会費	1,650,000	1,134,000	47期生262名、その他116名
引継ぎ金	1,859,558	1,859,558	前期より
雑収入	203,000	519,791	預金利息、広告収入、その他
合計	4,492,558	4,299,349	

一般会計報告(支出の部)

科目	予算	決算	内 訳
会議費	120,000	49,287	理事会3回
総会費	200,000	152,680	総会議案書、懇親会援助金
「柏」制作費	30,000	13,000	編集委員会2回
通信費	1,000,000	806,761	「柏」34号 @80 × 7972 × 0.91 = 580,361 「柏」35号 @80 × 3018 × 0.91 = 219,710 その他 6,690
印刷費	700,000	791,932	「柏」34号(8,500部) 189,400 「柏」35号(8,500部) 312,980 窓付き封筒(9,000部) 149,060 振込用紙、他 140,492
発送アルバイト費	200,000	140,000	「柏」34号発送アルバイト
事務費	40,000	14,041	
同窓会賞費	80,000	21,780	
小委員会費	25,000	0	

(3) 平成13年4月発行 武蔵工業大学付属中・高等学校同窓会報

名簿整備費	50,000	50,000	
柏苑祭費	30,000	0	
予備費	100,000	20,000	山本事務長3月4日、佐藤紀和先生4月19日
繰越金	1,917,558	2,239,868	
合計	4,492,558	4,299,349	

名簿会計決算報告

科目	収入額	支出額	内訳
前期より繰越	- 348,801		
名簿販売代金	22,300		8冊
印刷費		42,972	記載内容確認返信はがき
通信費		1,060	
次期繰越金		- 370,533	
合計	- 326,501	- 326,501	

第24回総会決算報告

科目	収入額	支出額	内訳
会費	128,000		合計入場者 会員38名 教員5名
寄付金	10,000		
抽選参加費	31,500		500円×63枚
景品代		31,500	
懇親会費		290,680	ゴールデンホール支払い+ウイスキー代金
総会援助金	152,680		一般会計より
合計	322,180	322,180	

繰越金総額

一般会計繰越金	2,239,868円
名簿会計繰越金	- 370,533円
合計	1,869,335円

繰越金内訳

定期預金口座	637,720円
貯蓄預金口座	71,969円
普通預金口座	529,243円
郵便振替口座	56,868円
現金	573,535円
合計	1,869,335円

上記の通り1999年度の会計報告を致します。

2000年11月17日

会計 上島正義 今井章久

会計監査報告

上記、会計内容を監査の結果、正しく表示、掲載されていることを認めます。

2000年11月17日

会計監査 白井泰雄

2000年度(2000年10月1日から2001年9月30日)予算案

収入の部

科目	予算	内訳
入会金	780,000	48期生260名×3000円
年会費	1,650,000	48期生260名×3000円 その他290名×3000円
引継ぎ金	2,239,868	前期より
雑収入	75,000	預金利息、 『柏』広告費、他
合計	4,744,868	

支出の部

科目	予算	内訳
会議費	120,000	理事会6回
総会費	200,000	総会援助金
「柏」制作費	30,000	「柏」制作委員会費
通信費	1,000,000	36号・37号郵送費、他
印刷費	700,000	「柏」、封筒、振込用紙、他
発送アルバイト費	200,000	「柏」発送アルバイト
事務費	40,000	
同窓会賞費	80,000	体育祭同窓会賞(図書カード)
小委員会費	25,000	小委員会活動費
名簿整備費	50,000	名簿修正、新会員記入
柏苑祭費	30,000	柏苑祭準備金
HP制作費	200,000	ホームページ制作費
会員交流補助費	40,000	
予備費	100,000	50周年実行委員会会議費、予備費
繰越金	1,929,868	
合計	4,744,868	

理事会報告

事務局長 塩満 守 (十九期生)



《年間行事について》
 昨年十一月の総会では、理事會役員改選があり、今回は大幅な役員交代がありました。

今回の改選では、今まで三役を殆ど占めていた一桁代(卒業期が)の役員が全て姿を消し、代わって今まで長年に渡りOB会の事務局長を務めてきた阿部氏が会長に就任、会長以外の三役にも13から19期という大幅な若返り人事が行われました。

今後今まではまた少し違った意味で、活動の中身も代わって行くかと思えます。おかげさまでこの改選につきましても、昨年十一月の総会にて、役員人事、活動計画を承認いただき、活動を開始いたしました。

本年度もいくつかの課題につき、理事会及び専門委員会にて検討並びに承認を経て活動を進めて参ります。

ここで、本年度の活動内容の概要を報告いたします。

一、体育祭

毎年五月に球技大会が開催されます。

二、柏苑祭への参加

同窓会として、柏苑祭に参加して早五年が経過いたしました。展示内容も少しずつ変えては来たモノの、今年は、思い切つて、今まで五年間の流れとは違った何かを、追求して見たいと思います。卒業生の皆さん、お手伝いお願いいたします。

三、母校五十周年

今年の二大イベントの一つ。学校側としては、

①写真集の発行②記念式典開催が決定しています。この写真集の編纂委にしましては、卒業アルバムにはない思い出の写真等を持っていく方は、ドンドン提供してほしいとのことでした。この件に関して何か写真をお持ちであったり、エピソードのある方はご提供頂きたい。

四、同窓会二十五周年

イベントのもう一つ。これこそ、我々同窓会にとって今年一番の行事。一人でも多くの同窓生の意見を求め、希望者全員が参加出来る、一大イベントにしたい。今からでも遅くはありません。お手伝いいただける方は居りませんか？

五、武蔵クラシックゴルフコンペ

今年はその区切りとなる十回目。毎年参加者が増え続けており大いに盛り上がっている。

六、「柏」36号の発行

先にも書いたように、今年は節目の大きなイベントが目白押しであり、これに関する広報誌としても、今年は大いに期待されている。まずは、四月二十五日に第一号を発刊し、第二号は母校五十周年、同窓会二十五周年といった、過

去に類を見ない大きなモノとなる。

今年はこのように大きなイベントが目白押しと成っており、ただでさえ財政上乏しい同窓会に於きましては、まさに試練の年となります。それでも会員の皆様への情報誌として位置付けられている同窓会報「柏」の発行に役員一同張り切っております。同窓会有志の皆さん、参加方法は拘りません、一緒に作ってみませんか？

「同窓会事務局長就任に際して」

昨年十一月の総会におきまして、事務局長に指名されました塩満です。私は、平成七年度から、ムサ高同窓会に一理事として参加させて頂き、諸先輩方の経験と比べてもまだ五年目という若輩者でありながら、理事会で事務局長に推薦され、総会にて承認されました。

今まで、理事会三役は卒業生OBの一桁台の先輩方が順番に遂行してこられたこともあり、今回の改選で少しは若返るかと思っております。たところ、突然14期の阿部事務局長(旧)が会長に、13期の中澤事務局次長が副会長にと決まり、さあ空席になった事務局長には……。

事務局長は同窓会の役職の中で、対外的にも学校との折衝や、会自体の運営・管理といった最も重要な部分を占めており、折衝能力、まため上げる能力といった、ありとあらゆる部分において経験や知識が要求されるポジションと認識しており、かつ前任の阿部事務局長の手腕を見ておりましたため、私なんかには絶対に出来ないし、縁のないポジションと思っておりました。

しかし、今までの会の流れや、活動状況を踏まえ、阿部新会長から「やってみないか。」との一言と、他の理事の方々より「推薦があり、最初は固辞したモノの、諸先輩方より「協力するから!」とのお言葉に押され、お受けすることとなりました。

実際、同窓会の中では、年齢的にも若輩でありますし、経験も少ないことから、先が思いやられますが、今年ムサ高創立五〇周年ということもあり我々の年代は丁度その真ん中近くにおり、上と下の繋ぎという意味では丁度良いし、諸先輩方の協力もありますので、今までの少ない経験を元に、今までは違った形の同窓会を構築していくのも面白いし、これにより今まで

懇親会報告

理事 神田 清人 (二十一期生)

第二十五回総会終了後、会場隣りに準備された宴会場に席が移り開催された。

今年は前回まで利用していた東急ゴールデンホールが閉鎖され、利用不可能となったことから急遽「柏」でお知らせした文化会館四階の中ホールにて行われた。この事情もあったせい参加者も例年に比べ大幅に減少してしまいがち盛りに欠けてしまったことが心残りではありました。

が、テーブルに出された料理には「北京ダック」を始め、東急ゴールデンホールの社長以下

以上に皆さんに興味を持って頂き、協力・ご参加いただける同窓会を作り上げてゆきたいと思っております。

理事の皆様は元より、今まで会報「柏」は読んでいたモノの、余り母校に興味のなかった卒業生の皆様にも、今後どんどん参加していただける(参加してみたくなるような)会に致したく思います。

今後、同窓会としてHPの立ち上げや、それに伴い会報「柏」をインターネット上にも掲載し、いつでも何処でも見られ、意見を述べ、参加できるといった双方向の交流といったモノも考えております。

これからの同窓会に大いに期待して下さい。

総力を結集した、とても美味な一品が並び定例の開会挨拶と乾杯のあと、すかさず料理に飛びつくというすさまじい光景でした。

母校の先生方では門校長・小野寺・尾崎・前島の各先生方並びに斎藤事務局長が昨年に引き続きご参加いただきました。

また、今年三期生であるコンチネンタル航空副社長鶴田氏も日本に帰国されており、急遽参加され、懐かしい話題や仕事上のアドバイス等、後輩の同窓生の方々の会話が弾んで場がとて盛りが上がった様子でした。

また、本年「総会・懇親会」は母校創立五十周年、並びに同窓会二十五周年と大きな記念行事とも重なりますので、是非会員諸氏の奮ってのご出席をこの紙面を借りてお願いする次第です。

本年度の総会・懇親会は平成十三年十一月九日(金)午後六時三十分より(遅刻可)会場 本紙九月発行「柏」37号にて発表

退任・新任役員紹介



退任

会長 金野 和彦 (二期生)
副会長 岩本 征義 (七期生)

長い間のご尽力に感謝申し上げます。今後も理事としてご協力下さい。

新任

会長

阿部 俊夫 (十四期生)

副会長

中澤 宏 (十三期生)

事務局長

塩満 守 (十九期生)

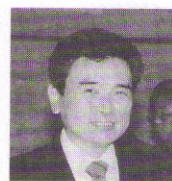
原稿募集

編集委員会では、同窓生の近況等、皆様の原稿を待っています。「懐かしい顔」コーナー・随筆・漫画等々幅広く記事を探しています。

編集部：清水 (14期生)
TEL.03-3595-0058
FAX.03-3595-0021
神田 (21期生)
E-mail:
kanda@tka.att.ne.jp



過去の同窓会の企画では、定年退職される先生方の過去にまつわる思い出話等、また時代の移り変わりに伴う生徒の変化等を授業を模して講話していただいておりますが、今年も定年退職される先生が



して例年どおり展示部門として一室を確保させていただきます。

昨年十月八日・九日の両日に開催された第四十二回「柏苑祭」に同窓会と

第42回柏苑祭に参加して

副会長 中澤 宏 (13期生)

いらつしやらないので企画できませんでした。展示場には、同窓会の会場で久しぶりに会おうと「柏」の記事をご覧になり約束され来訪された第二十三期卒業の仲間もあり、事務局として記念撮影をお手伝いし、皆さん長時間、歓談されていきました。

会場には小野寺先生(五期生)制作の「本校の歴史」、過去の卒業アルバム、過去の卒業アルバム、さらにはコーヒール、菓子を用意し、来場者の接待にあたった。また、私の同期である十三期生の(六六年卒)は、滝淵先生の呼び掛けでC組を中心に第一日目の夕刻、成城学園の中華料理店「マダムチャン」に十数名が集

い、旧交を温めた。その後、今年二月十日新宿で同期会を開催、今年度の第43回柏苑祭(十月七日・八日)に合わせて規模を拡大した同期会を開くべく滝淵先生を中心に進めている(はずである)。

卒業生の皆さん

第43回「柏苑祭」

当日、母校を訪ねて
みませんか!



日時 平成13年10月7日(日)・8日(月) 祝
場所 武蔵工業大学付属中・高等学校
(小田急線成城学園前駅下車徒歩10分
/田園都市線二子玉川駅よりバス20分)

新校舎 教室未定

- 本校の歴史、卒業アルバム、年表の展示
その他企画検討中
- 喫茶コーナー 懐かしい母校の先生方、諸先輩、意外な方との出会いが必ずあります。卒業アルバムを見聞きながらの歓談・情報交換を!
- 進学・入学コーナー 同窓会として会員ご子息の母校への新・入学のご希望に対してアドバイスいたします。

同窓会柏苑祭担当
小野寺章夫 (5期生)

○学校側としても進学・入学 相談コーナーを(柏苑祭)当日設けます。是非、お出かけ下さい。

今年も武蔵工大付属高校の創立五十周年にあたる。たまには、同窓会総会(十一月)や柏苑祭に合わせて同期会を開いてみるのもおもしろいのではないでしょうか。同期会開催のお知らせを次回「柏」37号(九月発行)に希望する方は、編集部までご一報下さい。記事として「広報」させていただきます。是非、ご利用をお勧めします。今年も柏苑祭に同窓会の部屋を確保する予定です。同期会の前には是非お立ち寄り下さい。



懐かしい顔

第一期生 47年を振り返り再会

梅本 一之 (昭和二十九年三月卒業)

当欄では毎号、皆様から多大なるご協力をいただき、懐かしい同窓生の現況・思い出などを掲載させていただきます。



(上段) 左より鈴木(弘)・中村・村上
梅本・鈴木(小杉)
(下段) 左より川嶋・永井・増田・
秋山・松本・大塚

卒業(一九五四)以来四十七年間は、就職難にはじまり、高度成長期・バブル崩壊による不況・リストラの波を越えてきた我々は、第二の人生を迎える時代が、卒業時とまったく同じ昔に戻る今日この頃。人恋しく、懐かしい友を思い浮かべる「オジイチャン」になっていました。

「老人になると赤子に還る」と聞かされてきたものの、本当にその通りと実感して、昨年末にひよんな事から小杉(現鈴木)・中村の兩名と逢い、二十一世紀を迎えるに当たり去る一月二十七日に「イッキ会」(二期生)をしようという話になりました。

早速身近な友に連絡し、十一名の参加を得て旧交を温めた。赤子

のように「はしゃぎ」まくった結果、第二の人生に向かって何も恐れない、強く、元気な姿を写真で紹介いたします。四十八期卒業生も我々と同じような時代に第一歩を踏み出す事と思われませんが、どん底から頂点に向かう事は「やりがいのある人生」になることの本になれば幸いとして、第二の人生を踏み出す我々と共に「イッキに頑張ろう」。

第10回武蔵クラシック開催のご案内



開催日 平成13年7月20日(祝)
会場 未定(関東近県)
プレー代 各自負担(金額未定)
会費 3000円(懇親会費は別途)
参加人員 定員20名(5組) 予定

懇親会ゴルフ大会「武蔵クラシック」も今季で目出たく10回目となり、ますます参加者が増加。卒業期が異なっても顔を合わせたときより「何か他人の気がしない」とも。プレー中は勝負の厳しさの中にも和気あいあいと。またプレー後の懇親会では自己紹介、情報交換などなど。今回も暗い世相ですが張り切って「いって来ませう」。ぜひとも皆様のご参加を。

同窓会懇親ゴルフ実行委 宮原 茂

連絡先 03-3703-1541



第1回懇親ゴルフ大会
の面々(平成4年10月)

「苛政猛於虎也」

国民を苦しめる政治が及ぼす害は、人食い虎の害よりもひどい。



本紙《掲載広告》募集のお知らせ

改訂 1999.9.30

対象: 母校卒業生の所属する企業・団体並びに個人
掲載枠: 一広告枠(最大) 1ページ=寸法 14.5×22.0cm
 一広告枠(最小) 1/2段(1ページ4段組の場合における) = 寸法 7×5.5cm
 ※なお、会報発行(年2回)2月・9月末各々について広告ページは2ページ以内までとさせていただきます。

掲載時期: 会報発行時期2月末・9月末各発行ごと。

締切: 各発行日の3週間ぐらい前まで(その都度お問い合わせ下さい)

発行部数: 約9000部(平成12年9月現在)

料金: 上記一広告掲載枠(最終ページから適宜)
 最大1ページ(寸法 14.5×22.0cm) **200,000円**
 最小1/2段(寸法 7×5.5cm) **25,000円**を基準とします。

その他: 原稿は「完全版下」を原則とし、掲載については理事会において簡単な審査をさせていただきます。

■詳細お問い合わせ 同窓会 塩満(19期) FAX. 3505-4539



訃報

理科(生物)の教鞭をとっておられ、在職三十五年で平成八年に退職なされた小笠原秀明先生が昨年秋にご逝去されました。ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

編集後記

「ご存じですか? 情報公開」

21世紀に入り、日本では20世紀中に降ろさず積み残したままの数々の問題点を政・官・財もたれ合いでお得意の先延ばし体質と我々国民としてのお人好しが手伝い迷宮化しています。従来の豊かさ・幸せの価値観を形成したものは物質的な要素が余りにも強く、金銭的な基盤の上に心を満たしてきた様です。それはそれで戦後の廃墟の中からここまで経済的豊かさを成長させてきた先輩の皆様のご苦労については、敬服せざるを得ません。しかし、馬車うまの如く企業のため、家庭のため、また幸せを掴むためと一目散に与えられた仕事に明け暮れして、「日本社会全体像」を見落としてきたのではないのでしょうか。

ここに来てもう一度、眼を大きく開いて「社会全体」を眺めてみたいと思います。目標としてきた企業の成長・家庭の幸せ・豊かさが掴めたのでしょうか。答えはNOです。昨今を見て下さい。リストラ・家庭崩壊・自殺etc。政府発表「来年の自殺者の政府目標値を二万人にしたい。」と先般帰宅後、風呂に浸かりながらNHKラジオのニュースで聴くともなくしつかり聴いてしまった。「自殺者の目標値」だと! 何事か! 自殺者を無くすのが税金を取っている国としての役目ではないのか! 人口調整もしているのか。バカヤロー! と怒りが込み上げてきた私でした。こんな物です。今、国や官僚が考えていることは!

住民運動に携わり早六年目の春。

「情報公開法」が国会で議決されました。これまで「市民」としての、はたまた「国民」としての自覚をサボり高度成長期の過去にそのまま置き去りにしてきた私。その急激な高度成長経済がゆえにじつくりと社会問題に取り組みず異常であることに疑問や関心を払うことさえも捨て忘れ「積極的に行動すること」が皆無だった。というか、忙しさにかまけていた。これが「歪み」というものなのでしょうか。

これには日本社会の構造的な悪しき慣行、また先入観等が起因していたのでは。「構造改革」とは、私たち「市民」の力を結集して行政に対してさせるものである。「他人まかせ」である行政にとっても都合の良いように全てを造り上げる。隠されていたことを多々発見してゆくことが何よりも私たちの毎日を自覚させてゆくのです。情報社会が末端の市民レベルから日本・世界へと瞬時に駆け巡る時代です。

「行政不服審査」という手段が意外と身近に「市民」各人に与えられているのです。不服を申し出ないということは「これで良いのです」と認めていることと政府お役人はどうも解釈していきやすいです。もつと積極的に意思表示をすべきです。これが戦後の民主主義ですか? マイッタ・マイッタ。いつまでも受け身では何事も解決されないシステムです。

という訳で同窓会事務局も会長・副会長・事務局長を次世代への変革のため新メンバーにて二十一世紀初頭を船出。

同窓会の発展のため、また会員相互の更なる交流のため心機一転前進します。ご支援の程を。

編集責任者 清水(十四期生)